

理財部会長報告

会議名 **第2回理財部会（オープン部会）**

日時 **2023年7月13日（木） 13:30～15:00**

場所 **秋田商工会議所 7階 ホール80**

出席者 **猿田副会頭、正副部会長3名、理財部会員8名
他部会員等 12名 計24名**

懇談

テーマ **次世代へつなぐまちづくり～五城目町の取組紹介**

ゲスト **一般社団法人ドチャベンジャーズ**

理事 丑田 香澄 氏

秋田市出身。東京に進学し、2012年出産後の母親支援団体「(一社)ドゥーラ協会」を共同設立。
2014年「地域おこし協力隊」として家族と共に五城目町に移住。

1. 五城目町の概要

- ・ 秋田市から車で40分、職場や学校の通勤・通学圏内。
- ・ 人口は8,000人、高齢者率は45%を超えている。
- ・ 少子化が進み町には小中学校・高校は1校ずつ。
- ・ 面積の8割が森林と言われており、農林業が基幹産業。

2. 取り組み①（移住定住促進）

【B A B A M E B A S E (五城目町地域活性化支援センター)の開設】

- ・ 2013年10月、人口減少・高齢化が続く中で、**移住定住促進、産業振興を目的に**、小学校の廃校舎を活用した**レンタルオフィスを町の運営でオープン**。
- ・ オープンと同時に雇用を創出し移住定住を促進する任務を遂行する「**地域おこし協力隊**」を募集。
- ・ **小さくとも多様な挑戦者が集い、地域に根付いた内発的に新たな事業が生まれる環境づくりを中長期的に行うことを目指し、東京・秋田市・地元の起業家が3社の入居でスタート。**



3. 取り組み②（資源の活用）

都会と田舎の多様な関わり方の発明

【シェアビレッジ】

- BABAME BASE入居起業や地域企業などが集い、協力隊のサポートにより2014年オープン。
- 築133年の茅葺古民家を**村**に見立て、年会費を年貢、交流会を寄り合い、宿泊・体験を里帰りとし、クラウドファンディングを活用して全国に村民(会員)を募り、2千人以上が村民として参画。
- **都会と田舎が豊かさをシェアし合うコミュニティを構築**し、田舎への多様な関わり方をつくり、村民の移住者や起業家の誕生のきっかけとなっている。



地域に根ざした土着ベンチャーの育成

【ドチャベン】

- 廃校舎や古民家など地域にある資源を活かし、地域に根ざして事業を生み出す田舎発の起業スタイルを「土着ベンチャー」略して「ドチャベン」と命名。
- 「丁寧生きる人からしか、生まれないベンチャーがある」を合言葉に、**田舎ならではの起業スタイルを全国に発信**。
- **秋田県の移住起業家育成事業も活用**し、県外から起業家が移住する流れができ始めた。入居起業家と地元農家や菓子店などとのビジネス連携や地域資源を活用した新商品も誕生している。

4. 取り組み③（誰もが挑戦できる環境づくり）

【地域住民×まちづくり】

- ・ 移住者に刺激を受け、町民自らが「こんなことをやってみたい」との思いを実行することを「**マイプロジェクト**」称し、移住者だけではなく**町民による挑戦の場が生まれ、町民発信の多様な企画が誕生した。**

【女性×チャレンジ】

- ・ このような活動が連鎖し、起業への思いを口にする地元女性が増え始め、起業の一步を応援するプログラム「**オトナの学校シリーズ**」などの企画を通じ、**新たな挑戦の一步を後押しし、起業への機運が生まれ始めた。**

【ごじょうめ朝市plus+】

- ・ 520年続く五城目朝市の土着資源に着目し、**若者や女性の新たな挑戦を試す場所**として、定例朝市が開催される日の中で、日曜を限定に開催。
- ・ 多い時は80店舗、7,000人が来場する市場に成長している。

【空き店舗・空き家×新事業】

- ・ 朝市plus+の流れも手伝い、**町の中心部に新たな小商いが相次ぎ誕生。**
- ・ 移住者が起業したアートギャラリー、地元女性が起業したカフェ、パン屋、その他複数の飲食店が誕生し、それぞれが自発的に工夫しながら活動し、**新たな顧客を取り込む良い循環が生まれている。**

4. 取り組み④（教育）

【教育環境の魅力化】

- ・地域で暮らしや子育てを楽しむ人が増え、子供も大人も共に遊び学び続ける町を目指し、**グローバル(グローバル×ローカル)な教育の環境づくりを推進。**
- ・子供たちにとっては、町に当たり前のように学生・起業家・研究者などが存在し、**関わる機会がある**ということは大きな財産となっている。

【教育留学】

- ・2021年始動。教育留学・二拠点教育・教育移住・教育民泊など**教育が“遊動”化し、越境し学び合う環境づくりを推進。**

【みんなの学校】

- ・町唯一の「五城目小学校」のあり方を検討する町民参加のワークショップを開催。様々な角度から検討を重ね「**地域に開かれた学校**」を目指すことで、**大人も学べる学校をコンセプトに全町民を対象とした無料講座を開講。**年齢の境界を越えて趣味の話題から職業訓練まで幅広いテーマを取りあげており、今年度は全35講座を予定。



A collage of four promotional cards for educational events. Each card includes a date, title, speaker, and target audience. The cards are: 1) 11/22 (Sat) 'World Development Committee' by Haruhiko Inoue; 2) 11/28 (Mon) 'Sustainable Community Building' by Kenji Yamada; 3) 11/26 (Sat) 'Childhood and Investment' by Kenji Yamada; 4) 11/26 (Sat) 'Digital Learning' by Kenji Yamada. Each card features a small image related to the event.

5. 取り組みの成果

- これらの取り組みを進めていく中で、少しずつ子育て世帯や起業家人材の移住者が増え始め、**これまで約50人が移住。**
- 3社から始まった「**BABAMEBASE**」の入居者は現在延べ41社。今では、幅広い業種が入居する地域に根差した起業家・企業の集積拠点として注目され、**県内外・海外から年間約5,000人が視察来訪。**
- 2018年にはBABAMEBASEを中心とした地域おこし協力隊の取り組みが**地方創生の優良事例に選定**された。

6. まとめ

- 「**内発的・多様な挑戦の連鎖**」「**適度な外来種によるゆらぎ**」「**地域の次世代が育つ環境づくり**」が相乗効果を発揮し、良い土壌が耕され、菌がのびのびと発酵する環境が醸成されていく。
- 多様な挑戦は、自然発生し、町での暮らしや子育てを楽しむ人が増加し「**世界一、子供が育つまち**」として子供から大人まで**学び遊ぶ、挑戦し続ける町としてプレイフルなまちづくりへと繋がって**いく。